

国際地域精神保健について学ぶ

—カンボジアの地域精神保健活動を事例として—

後発開発途上国の地域精神保健に関心のある医療職や学生のみなさまを対象とした勉強会を以下の通り開催します。ご参加をお待ちしています。

日時：2017年7月16日（日）9:00～16:30

場所：錦糸町北口ビル5階 錦糸町小ホール

（住所）東京都墨田区錦糸町3-5-1

（交通アクセス）JR総武線・東京メトロ半蔵門線 錦糸町駅より徒歩2分

言語：英語、日本語

参加費：SUMH会員無料 一般¥2,000 学生¥1,000 ※1 先着50名まで

※2 参加費は当日、会場でお支払いください。

主催：途上国の精神保健を支えるネットワーク Supporters for Mental Health (SUMH)

<プログラム>

9:00~9:15	開催の挨拶 「途上国の精神保健を支えるネットワークのミッション」	(敬称略) 青木
9:15~10:15	最新の疾患理解：途上国で課題となる主な疾患について ● Schizophrenia 統合失調症 ● Epilepsy てんかん ● Alcohol Dependency アルコール依存症 ● Mental Retardation 精神発達遅滞	丸谷
10:15~10:45	専門資源のないところでの精神保健ケアを支える理論 (参考文献) “Where there is no doctor” Vikram Patel	手林
10:45~11:45	村でできる活動の例 “Training in the community for people with disabilities”	手林
11:45~13:00 昼休憩		
13:00~13:30	デイ・サービスの意義・役割について	窪田
13:30~14:00	地域での訪問活動の原則	篠原
14:00~14:30	カンボジアの精神保健の現状：制度、疾病動向、保健医療職	野崎
休憩 15分		
14:45~15:15	SUMHの地域精神保健活動 “Key Person Meeting”	手林
15:15~16:15	ケース・カンファレンス & Discussion	手林
16:30	閉会	

※ お申込み・お問い合わせは学習会担当・宮本圭 (freedom_27kei@yahoo.co.jp) まで。